

# 平成3年度魚病診断結果

沢田 健蔵・池脇 義弘  
大塚 弘之

平成3年4月～平成4年3月までに養殖魚及び種苗生産や中間育成時に発生する病害について、試験場への持ち込みと養殖場を巡回調査時の検体について診断した結果を表1,2にまとめた。

表1 平成2年度診断結果(淡水魚)

魚種	病名	年 月	1991										1992			計		
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
アユ	ビブリオ病				2	1		1					1				5	
	連鎖球菌症							1	4	1						1	7	
	カラムナリス病			2													2	
	冷水病				1					3			6	2	6	2	20	
	その他細菌性疾病			1			5	1	1				4				12	
	ギロダクチルス症						1		1								1	3
	ミズカビ病			3	1		1		1								1	7
	真菌性肉芽腫症				1					1	1							3
	その他			1						1	1			1				4
	不明			1	3	2	3	1	5	2	2			3	1			23
診断件数			5	8	5	11	3	18	5	2	11	6	7	5			86	
ウナギ	エドワジェラ症		1	1													2	
	鰓ぐされ病							3									3	
	尾ぐされ病			1	1												1	
	その他細菌性疾病												1				1	
	シュードダクチロギルス症							4									4	
	ミズカビ病												1				1	
	メトヘモグロビン血症			1													1	
	その他				1	1									1		3	
	不明			1				1						1	4		7	
診断件数			3	2	2	1	8					2	2	4		24		
アマゴ	鰓ぐされ病								3								3	
	せっそう病		2	2	2						1				1		8	
	連鎖球菌症				1		1										2	
	その他細菌性疾病					1											1	
	IPN		1														1	
	ミズカビ病													1			1	
	その他			1													1	
	不明		1	1		1	1						2	1			7	
診断件数			4	4	4	1	2	3		1		3	1	1		24		

表2 平成2年度診断結果(海産魚)

魚種	病名	年 月	1991												1992			計
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ブリ	ビブリオ病					1												1
	類結節症				1	8	1	1										11
	連鎖球菌症									1								1
	その他細菌性疾患				1													1
	餌料性疾患										1	1						2
	はだむし症						1											1
	黄疸症									1								1
	診断件数				2	9	2	1	2	1	1							18
ヒラメ	連鎖球菌症								2	2								4
	エドワジェラ症					2	1	3	2					1	1			10
	滑走細菌症		3	10	1	1												15
	ビブリオ菌			1														1
	その他細菌性病疾			1														1
	白点病															1		1
	イクチオボド症				1													1
	ウーデイニウム症								1									1
	スクーティカ症								1					2				3
	トリコディナ症			1														1
	繊毛虫症																1	1
	ガス病			1														1
	不明			1	4	1					1							7
	診断件数		3	15	6	4	1	7	4	1				3	3			47
トラフグ	ビブリオ病				4													4
	滑走細菌症				1													1
	口白症								3									3
	ギロダクチルス症												1					1
	白点病						1											1
	不明				2	1							1					4
診断結果				7	1	1		3		2							14	
マダイ	イリドウィルス感染症						2											2
	滑走細菌症									1								1
	不明									1								1
診断件数							2		2								4	
マハタ	黄脂症				1													1
	不明			1														1
	診断件数			1														1
カンパチ	連鎖球菌症		1	1													2	
シマアジ	滑走細菌症		1														1	
オニオコゼ	不明				2	1											3	

### 診断結果

内水面における診断件数はアユ86件、ウナギ24件及びアマゴ24件となり、総件数は134件であった。海面における診断件数はブリ18件、ヒラメ47件、トラフグ14件及びその他の魚類10件となり総件数は89件であった。

本年度の特徴として、アユでは冷水病(前年度までの滑走細菌症(貧血症))の診断件数の増加、ブリ

では連鎖球菌症の減少, ヒラメではエドワジェラ症の増加及び魚病種類の多様化等が上げられる。

## 薬剤感受性結果

アユ及び海産魚種から分離された *V. anguillarum* の薬剤感受性試験結果を表 3 に示した。血清 Type A 及び C の両方とも薬剤の感受性は高かった。ブリから分離された *P. piscicida* の薬剤感受性結果を表 4 に示した。前半に高感受性のみられたオキシリン酸は 7 月 9 日以降から感受性の低下がみられ、アンピシリンは感受性のない株もみられた。ニフルスチレン酸に対しては全て高感受性であった。

表 3 養殖魚から分離された *Vibrio anguillarum* の薬剤感受性試験結果：薬剤略号は表 5 参照

血清型	分離魚種	分離年月日	感受性の程度				
			SM	OTC	OA	NFS	FP
A type	アユ	91.06.25	++		+++	+	+++
A type	アユ	91.06.28	++		+++	++	+++
A type	アユ	91.07.30	++	+++	+++	+++	+++
A type	アユ	91.09.09	++	+++	+++	++	+++
C type	トラフグ	91.06.18	-	+++	+++	+++	+++
C type	トラフグ	91.06.20	+++	+++	+++	+++	+++
C type	ブリ	91.07.03	++		+++	+++	+++

表 4 養殖ブリから分離された *Pasteurella piscicida* の薬剤感受性試験結果：  
薬剤略号は表 5 参照

分離年月日	感受性程度							
	SM	OTC	OA	ABPC	NB	NFS	FP	FQ
91.06.29			+++	+++	+++	+++	+++	
91.07.03	++		+++	+++	+++	+++	+++	
91.07.03	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
91.07.04		+	+++	+++		+++	+++	+++
91.07.09	-	++	+++	+++	+++	+++	+++	+++
91.07.09	-	+	++	-	+++	+++	+++	++
91.07.09	-	+++	++	+++	+++	+++	+++	++
91.07.11	-	+	++	-	+++	+++	+++	+++
91.07.13	-	++	+	-	+++	+++	+++	
91.07.17	-	++	++	+++	+++	+++	+++	++

表 5 薬剤略号一覧

略号	薬剤名
SM	スルファモノメトキシシ
OTC	塩酸オキシテトラサイクリン
OA	オキシリン酸
ABPC	アミノベンジルペニシリン
NB	ノボピオシン
NFS	ニフルスチレン酸ナトリウム
FP	フロルフェニコール
FQ	フルメキン